

0・1・2歳児の初めてのお話えほん

ひかりのくに

プエパオ

せいかつえほん テーマ：返事

『おへんじ はい』

5領域
との
関わり

人 言 表

指導計画事例

・呼びかけや返事に
親しむ



ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。↓

お返事のページ

ねらい

声やリズムの変化を楽しむ

活動内容

・動物ごとの返事の
違いを楽しむ

環境や援助

*動物ごとに読み方を変え、それぞれの「はい」の声の大きさや調子に変化をつけて読む。

*慣れてきたら、子どもたちに呼びかけ役をしてもらう。





16-17 ページ

ねらい

返事をする気持ちよさ
を感じる

活動内容

・お返事ごっこを楽しむ

ひかりちゃん！



はい！



環境や援助

*絵本の『のんちゃん。』の部分で、子どもたちの名前に変えて呼びかける。

*呼ぶ時は、子どもの目を見ながら笑顔で呼びかけ、返事ができたら「元気に言えたね」など、しっかりと褒める。

プチパオ読んで

プチパオで
つながる
園と家庭

幸せホルモンプラス

おうちでプチパオを楽しむポイントをご紹介します。
コピーしたり、切ったりしておたよりなどにお使いください！

子どもとのふれあいとよく言いますが、ふれあいは広く言えば『肌のふれあい』に限りません。言葉でもふれあうことができますし、言葉以外の行動（非言語行動といいます）でもふれあうことができます。つまり、『心のふれあい』の方法は無限にあるのです。例えばことばかけでは、子どもを褒める、励ますなどが効果的で、非言語では、子どもと目を合わせる、優しい声で話すなどのコミュニケーションで心のふれあいができるでしょう。そうした心のふれあいによって、オキシトシンは分泌されます。

ぶくぶくほっぺがかわいい
りんちゃ〜ん！



はい！



7月号 ふれあい遊び 「おへんじ できるかな」



7月号では、子どもの名前を呼ぶ時に、「ぶくぶくほっぺがかわいい、〇〇ちゃん」など、子どもを褒める内容にしてみるのはいかがでしょうか？ そしてその後は、耳に手を当てて子どもに目線を送りながら返事を促す、といったジェスチャーをしてみましょう。言葉で褒められた上に、非言語でもしっかりと目を見せて見つめられた子どもは、嬉しくて幸福感がアップすること間違いなしです。

幸せホルモンとは

オキシトシンは『幸福ホルモン』とも呼ばれ、親子のふれあいをすると親にも子どもにもたくさん分泌されるホルモンです。その作用は、大切な親子の愛着のきずなを築いたり、ストレスを小さくしたり、睡眠の質を高めるなど様々な効果があります。



山口 創

桜美林大学リベラルアーツ学群教授。専攻は健康心理学、身体心理学。幸せホルモンとふれあいの関係について研究している。「幸せになる脳はだっこで育つ」（廣済堂）など著書多数。「朝イチ」「世界一受けたい授業」などへの出演、各種雑誌媒体の監修も行っている。